



議会だより

No.212

令和2年10月23日



名水大野 地鮎を食す日(9月27日)
矢ばなの里の赤そば

主な内容

9月定例会の概要	2・3ページ
議案等の各議員表決	4ページ
一般質問の概要	5~10ページ
常任委員会審査報告	11・12ページ
特別委員会報告	12ページ

大野市議会では、議会日程や議案等の審議経過及び結果、会議録などの議会情報をホームページでも掲載しています。ぜひご覧ください。



発行：大野市議会

〒912-8666 福井県大野市天神町1-1
Tel 0779-64-4830 Fax 0779-65-3021
<http://www.city.ono.fukui.jp/>

編集：議会だより編集委員会

議案第48号 令和2年度一般会計補正予算（第7号）

一般会計予算に3億2701万円を追加 主な内容は下表のとおりです。

9月 定例会の概要

第420回定例市議会は、8月31日から9月17日までの18日間の会期で開催されました。
今回の定例会では、令和2年度の一般会計補正予算案、条例の制定、市道路線の認定、人事案件、専決処分承認など、全17議案のほか、請願1件、陳情5件、議員提出の市会案2件について審議しました。
審議結果は、4階のとおりです。

補正の主な内容	補正額
新型コロナウイルス感染症対策に要する経費に充当するため議員の政務活動費※の2分の1を減額	△432万円
市及び県の休業要請等に応じて休業等を行い営業収入が減少した指定管理者を支援するため協力金を給付する経費	1100万円
新型コロナウイルス感染症の下で新たな日常を実現するため、リモート会議ができる環境を整備する経費	1453万円
市民サービスの向上を図るため、キャッシュレス決済の導入を進める経費	190万円
社会福祉法人が行う救護施設の拡張工事に対して補助する経費	2691万円
令和2年5月1日から令和3年4月1日までに生まれた新生児を対象として、1人当たり3万円を給付する経費	528万円
新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた地域内の消費を喚起するため、プレミアム付き商品券を販売する経費	9121万円
「おおのまるごと満喫キャンペーン」の冬バージョンを実施する経費	1407万円
新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となったおおの城まつりの開催経費を減額	△1095万円
道の駅越前おおの荒島の郷の備品を整備する経費	9084万円
スマートフォンアプリを使ってオンラインマラソン大会を開催する経費	99万円
小中学校の特別教室に空調設備を整備する経費	5828万円
新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった越前大野名水マラソンの開催経費を減額	△1743万円

※政務活動費「議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付されるもの」

専決処分された予算の概要について

議案第57号及び議案第58号で承認した補正予算の概要は下表のとおりです。

令和2年度大野市一般会計補正予算(第6号) 7879万円を追加(議案第58号)

補正の主な内容	補正額
災害の発生に備え、避難所での感染を抑止する資機材を整備する経費	4110万円
市内の中小企業などが連携し、新しい生活様式を踏まえて企画した消費拡大事業を支援する経費	1000万円
市内の特色あるさまざまな「おどり」の動画を作成し、インターネットなどで配信する経費	959万円
小中学校の児童・生徒1人1台のタブレット端末整備に伴い、授業で使用する大型モニターを購入する経費	846万円

令和2年度大野市一般会計補正予算(第5号) 7925万円を追加(議案第57号)

補正の主な内容	補正額
感染症対策のため、公立保育所、民間保育所や幼保連携型認定こども園のマスクや消毒液などの衛生用品を購入する経費	1175万円
ひとり親世帯に1世帯当たり5万円(第2子以降1人につき3万円加算)を給付する経費	2676万円
①市内宿泊者に文化施設入館フリーパスポート、観光体験割引クーポン、タクシー等割引チケットを発行する経費 ②市内小中学生、まちなか遠足小中高校生に観光体験割引クーポンを発行する経費 ③市内キャンプ場の宿泊利用料等を割引する経費	2056万円
感染症対策のため小中学校施設用のマスクや消毒液などの衛生用品を購入する経費	1105万円

条例の制定

大野市中小企業緊急経営安定対策利子補給金基金設置条例

福井県経営安定資金（新型コロナウイルス対策分）の融資を受けた市内中小企業者の利子補給に必要な経費の財源に充てるための基金を設置します。

大野市道の駅越前おおの荒島の郷設置条例

道路利用者の利便性の向上や地域資源情報の発信、農産物や特産品の販売とともに、地域の防災機能の充実を図るため、大野市道の駅越前おおの荒島の郷の設置について規定します。開館時間や休館日などを定めました。

その他の議案

大野市道の駅POSレジシステム売買契約の締結について

大野市道の駅越前おおの荒島の郷と道の駅九頭竜にPOSレジシステム一式を導入する契約を認めました。

指定管理者の指定について（大野市道の駅越前おおの荒島の郷）

大野市道の駅越前おおの荒島の郷の指定管理者に中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社を指定しました。

人事案件

副市長の選任について

引き続き、田中雄一郎氏（泉町）を副市長に選任することに同意しました。

教育委員会委員の任命について

馬道 保氏（太田・再任）と、羽生たまき氏（猪島・新任）を任命することに同意しました。
人権擁護委員候補者の推薦について
大谷恵子氏（右近次郎・再任）を推薦することに同意しました。

専決処分の承認

次の2議案を承認しました。

- 令和2年度大野市一般会計補正予算（第5号）
- 令和2年度大野市一般

会計補正予算（第6号）概要については、2ページをご覧ください。

請願・陳情

拉致問題を風化させないための決議を求める請願

○請願者 吉田彰次郎さん
不採択となりました。

地方財政の充実・強化を求める意見書採択について

○陳情者 自治労福井県本部執行委員長 橋岡克典さん
採択となりました。

地下水の「環境アセスメント」実施を求める陳情

○陳情者「大野の美味しい酒」を飲み続ける会 清水吉征さんほか賛同者4名
産経建設常任委員会付託分、民生環境常任委員会付託分とも不採択となりました。

「環境アセスメント」の実施を求める陳情

○陳情者「大野の酒」を守る会 桑森誠一郎さんほか賛同者3名
不採択となりました。

「泉町地区の詳細設計策の前に地下水に対する環境影響評価の実施を求める」陳情

○陳情者 大野の水環境ネットワーク 代表 石田俊夫さんほか1名
不採択となりました。

市会案

次の2市会案を全会一致で可決しましたので、政府関係機関等に対し意見書を提出しました。

① **新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書**

② **地方財政の充実・強化を求める意見書**

決算認定について

令和元年度の大野市歳入歳出決算と大野市水道事業会計の決算認定については、8人の委員による決算特別委員会（白崎貴之委員長・廣田憲徳副委員長）に付託され、閉会後に継続して審査を行いました。（10月5日～9日）

★12月市議会定例会のお知らせ★

市議会の本会議は、誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会事務局（3階）で受け付けを済ませてから、傍聴席（R階）にお入りください。

次回、12月定例会の予定は下記のとおりです。（☎0779-64-4830）

日程（案）	区分	審議等の内容
11月30日	月 本会議	決算特別委員長報告、質疑、討論、採決 議案上程、提案理由説明
12月7日	月 本会議	一般質問
8日	火 本会議	一般質問、請願・陳情上程
9日	水 委員会	10:00 産経建設常任委員会
10日	木 委員会	10:00 民生環境常任委員会
11日	金 委員会	10:00 総務文教常任委員会
14日	月 委員会	10:00 人口減少対策特別委員会 13:00 未来へつなぐまちづくり特別委員会
17日	木 本会議	各委員長報告、質疑、討論、採決



令和2年9月第420回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）	議決結果	廣瀬浩司	木戸屋八代実	林順和	ダニエル益資	白崎貴之	伊東由起恵	松本嘉彦	廣田憲徳	堀田昭一	高田育昌	野村勝人	梅林厚子	永田正幸	松田元栄	川端義秀	高岡和行	畑中章男	榮正夫	
市長 提出 議案	48	令和2年度大野市一般会計補正予算（第7号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○	○	×
	49	令和2年度大野市和泉診療所事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	50	令和2年度大野市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	51	令和2年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	52	大野市中小企業緊急経営安定対策利子補給金基金設置条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	53	大野市道の駅越前おおの荒島の郷設置条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	54	市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	55	指定管理者の指定について（大野市道の駅越前おおの荒島の郷）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○	○	×
	56	大野市道の駅POSレジシステム売買契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	57	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度大野市一般会計補正予算（第5号））	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	58	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度大野市一般会計補正予算（第6号））	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	59	令和元年度大野市歳入歳出決算認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	60	令和元年度大野市水道事業会計の決算認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	61	副市長の選任について	同意	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	×	○	○
62	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	×	○	○	○	○	欠	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	
63	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	×	○	○	○	○	欠	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	
64	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	
市会案	3	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	4	地方財政の充実・強化を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
請願	1	拉致問題を風化させないための決議を求める請願	不採択	否	否	否	賛	否	否	否	否	否	賛	/	否	否	否	否	否	否	賛	
陳情	5	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について	採択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	/	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
	6	地下水の「環境アセスメント」実施を求める陳情	不採択	否	否	否	賛	否	否	否	否	否	否	賛	/	否	否	否	否	否	否	賛
	7の1	「環境アセスメント」の実施を求める陳情	不採択	否	否	否	賛	否	否	否	否	否	否	賛	/	否	否	否	否	否	否	賛
	7の2	「環境アセスメント」の実施を求める陳情	不採択	否	否	否	賛	否	否	否	否	否	否	賛	/	否	否	否	否	否	否	賛
	8	「泉町地区の詳細設計策定の前に地下水に対する環境影響評価の実施を求める」陳情	不採択	否	否	否	賛	否	否	否	否	否	否	賛	/	否	否	否	否	否	否	賛

議長（梅林厚子氏）は採決に加わらないので「/」で表示。欠席は「欠」と表示。
議案に賛成○、反対×。請願・陳情の願意に賛成「賛」、願意を否とする場合「否」。

道の駅越前おおの荒島の郷は 防災道の駅の認定を目指すのか

重点道の駅の選定を受けて整備を進めており、
防災道の駅の制度ができたことから認定を目指す



新風会・公明

しらさき たかゆき
白崎 貴之 議員



問 新型コロナウイルス感染症に対し、大野市業務継続計画（BCP）をどのように生かしたか。
答 業務継続計画を参考にしつつ、新型インフルエンザに対する業務継続計画の考え方をベースとして定めることとした。
問 人事異動があった際には、更新の必要があるのではないか。
答 見直しの方向で進めさせていきたい。
問 道の駅越前おおの荒島の郷は防災道の駅の認定を目指すのか。
答 重点道の駅の選定を受けて整備を進めており、防災道の駅の制度ができたことから認定を目指す。

問 道の駅のBCPは誰が策定するのか。
答 設置者である大野市が作成する。道路管理者である福井県とも協議して進める。
問 BCPセミナーの開催状況は。
答 会場とWEB、合わせて延べ13社が参加し、地震や風水害、新型コロナウイルス等の災害、感染症発生時の対応を盛り込んだ計画の策定等について解説をいただいた。
問 風力発電計画に対して、地下水対策審議会の意見を聞く予定はあるのか。
答 市へ照会された内容を見て、意見を求めるかどうかを判断する。



建設中の道の駅越前おおの荒島の郷

移住定住促進に、 組織力の強化が必要ではないか

最大のチャンスと捉えて、もっと力を入れていく



未来おおの

きとややよみ
木戸屋八代実 議員



問 人口減少対策に関するのビジョンは何か。
答 一番最初に市民に光を当てる。大野に住んで良かった、住み続けたいと思えるようにしたい。高速交通アクションプログラム（健康のまちづくりの実現、大野ですくすく子育て応援パッケージの実行を着実に進めていく。第六次大野市総合計画前期基本計画に人口減少対策の全体像を入れ込む。
問 移住定住にフォーカスする。移住定住の市の担当者は何人か。
答 2人。
問 他の業務はやっていないのか。
答 他の業務と兼務でやっている。
問 移住定住促進は、非常に大事な施策の一つである。担当の組織力の強化が大事だと思うが、どう思われるか。
答 職員が2人であるが、移住定住のサポートチームを任命している。もっと力を入れて、今が最大のチャンスと捉えて進めていかなければならないと考えている。
問 令和4年度末の中部縦貫自動車道の一部開通により、和泉地区での移住定住が成功モデルになる可能性があると考えます。その点について、どう思われますか。
答 和泉地区は地域を挙げて、自治会を中心に積極的に活動が行われている。中部縦貫自動車道的全線開通は、移住希望者や交流人口の増加が期待される。このチャンス逃すことなく、県や関係団体、地域の方々などと連携を図りながら、積極的な移住者の受け入れと、その後の定住につながるよう努めていく。

一般質問

持続化給付金は一般農業者も申請できるのではないか



日本共産党大野市議員
 さかえ
榮 正夫
 まさお
 議員



持続化給付金は農業経営者も対象になる

問 令和2年3月31日新
 たな食料・農業・農村基本
 計画が閣議決定された。
 その内容及び人・農地プ
 ランの進捗(しんちよく)
 状況と鳥獣被害対策につ
 いて伺う。

答 基本計画は、今回で
 5回目で、その特徴は、
 農村の多面的機能の重視
 が盛り込まれたことであ
 る。人・農地プランは、
 アンケート調査票を35
 00部配布し、1900
 部回収して集計している。
 令和3年度中の作成をめ
 どにしている。

また、農作物の鳥獣に
 よる被害対策については、
 毎年、農業共済組合や集
 落の代表者の協力を得て
 被害面積や金額を把握し
 ている。

問 国や県の補助制度を
 利用して地域をどう守る
 のか、あるいは農村社会
 をどう守るかということ

で、さまざまな苦勞をし
 ているとのことだが、農
 業支援の補助金は、その
 条件が優先される特徴が
 ある。今回の持続化給付
 金は農業を持続していく
 上で農家の皆さんが自主
 的に使用する給付金とし
 て的を得ているが、ほと
 んどの農業者に知られて
 いない。地域の農業に役
 立つ補助金を設定する提
 案が大事なのではないか。

答 議員の指摘どおり持
 続化給付金については市
 において商工業の方が利
 用する窓口を用意してい
 るが、農業経営者にも対
 象になるということにつ
 いて周知が徹底できてい
 なかった。国の補助金の
 制度設定は大野市独自で
 は難しいが、この持続化
 給付金の窓口対応は柔軟
 に農業サイドで担当が相
 談、対応させていたたく。

一般質問

1日当たりどれだけの汚水が公共用水へ流れ出ているのか



清風会
 ひろた
廣田 憲徳
 かずのり
 議員



未接続者の使用した4200トンの生活水のほとんどが流れ出ている

問 公共下水道事業の経
 緯を伺う。

答 当初の基本計画策定
 から20年以上が経過し、
 公共用水域の汚濁がさら
 に進み、また衛生的で快
 適な生活様式を求める市
 民ニーズが高まり、平成
 6年度に大野市公共下水
 道事業基本計画を見直し、
 平成8年度に事業着手し
 た。

問 県内各市町及び市内
 各地区の下水道接続率は、
答 福井県内市町の平成
 30年度末の接続率の平均
 は88・1割であり、接続
 率が一番高い南越前町は
 97・8割、最も低い本市
 の接続率は、48・4割で
 ある。令和元年度末の市
 内各地区の接続率は、一
 番高い上庄地区で91・6
 割、一番低い大野地区で
 41・2割である。本市に
 おいては、主に公共下水
 道区域でいまだ多くの家
 庭から生活排水が近くの
 水路等に流れ出ている現
 状があり、整備途中の公
 共下水道事業を推進する
 とともに、市民の皆さま
 に汚水処理の必要性をご
 理解いただき、加入促進
 を図っていく。

問 1日当たりどれだけ
 の汚水が公共用水へ流れ
 出ているのか。

答 未接続者の使用した
 4200トンの生活水の
 ほとんどが流れ出ている
 という計算になる。

問 大野の恵まれた水環
 境を後世に残すために、
 今後どのような汚水処理
 対策を行っていくのか。

答 大野の恵まれた水環
 境を後世に継承すること
 はもとより、本市が持続
 的かつ健全に発展し、公
 衆衛生の向上と公共用水
 域の水質保全に資するた
 め、下水道事業の重要性
 を市民の皆さまにお伝え
 し、理解を深めていただ
 きながら、計画年度内の
 完了を目指し、事業の推
 進に努めていきたい。

人口減少対策についての市長の考えは



結の心で活力ある地域を 次世代につなげることが重要

- 問** これからの商業、工業及び産業界への支援、育成についてどのような考えを持っているか。
- 答** 地域経済を活性化させる準備を整え、人が住み、暮らしていくための経済力の底上げが必要だと考える。
- 問** 商工会議所調べで平成30年は27件、平成31年は34件が廃業等をしている。市の事業が支援にないのではないのでは。
- 答** 昨年は後継者とのマッチングを行っている。現在借り上げているスクールバスをなぜ購入するのか。車検や維持管理も含め全て民間に依頼した方が企業支援になるのではないかと。
- 問** 国、県から700万円の補助金を得られる。運転業務は委託する。
- 答** 民間業者に委託する。人口減少対策についての市長の考えは。
- 問** 本市の昨年1年間の人口減少率は2.07割で、県内9市で最も高い。人口が減っても結の心で活力ある地域を次世代につなげていくことが重要だ。
- 問** 一昨年まで200人余りだった新生児数が、昨年は160人と減少しているがなぜか。
- 答** 出産する女性の人口の減少によると考える。
- 問** 子育てに対してお金を渡すことも必要だが、小児科、産婦人科等の環境整備が必要では。また、転出超過をどう思うか。
- 答** 就職によるものが多い。
- 問** 人口減少イコール産業の衰退、経済の衰退、商業の衰退、工業の衰退であると考え。一部の路線の直営の除雪をやめたがどうするのか。
- 答** 民間業者に委託する。

双葉会

高岡

和行

議員



デジタル化に向けた市の方針は

市民サービス向上など 3つの柱に重点的に取り組む



- 問** デジタル化に向けた市の方針は。今こそ官民一体の取り組みが必要。
- 答** 新型コロナウイルスの広がりに伴い、意識の変化がうかがえ、本市が行政のデジタル化を進めることは、都市部の若者や企業を引き付ける大きなポイントになる。市電子自治体推進指針を改訂し、電子化による市民サービスの向上、行政内部の事務の効率化、情報セキュリティ対策を柱に、重点的に取り組む方針を定めていく。
- 問** リモート環境整備事業の概要は。
- 答** 各公民館に新たなインターネット回線を設け、リモート用機器を整備するもの。リモートでの会議や講座の開催、災害時には災害対策本部との連携がスムーズに行えるようになる。
- 問** 地域住民も利用できないのか。
- 答** 地域住民、各地区の団体同士の意見交換などができる体制にしていく。
- 問** デジタル化に向けた市の方針は。今こそ官民一体の取り組みが必要。
- 答** 新型コロナウイルスの広がりに伴い、意識の変化がうかがえ、本市が行政のデジタル化を進めることは、都市部の若者や企業を引き付ける大きなポイントになる。市電子自治体推進指針を改訂し、電子化による市民サービスの向上、行政内部の事務の効率化、情報セキュリティ対策を柱に、重点的に取り組む方針を定めていく。
- 問** リモート環境整備事業の概要は。
- 答** 各公民館に新たなインターネット回線を設け、リモート用機器を整備するもの。リモートでの会議や講座の開催、災害時には災害対策本部との連携がスムーズに行えるようになる。
- 問** 地域住民も利用できないのか。
- 答** 地域住民、各地区の団体同士の意見交換などができる体制にしていく。
- 問** 子育て支援センターでのリモート相談とは。来年度の子育て応援パッケージとして打ち出し、利用方法など周知を。
- 答** これまで電話で相談していたが、画面を通して情報交換できるようにする。保健師も対応する。
- 問** 越前大野城ではQRコードでの支払いと現金のみの対応があった。来訪者にとって不便では。
- 答** 今後の課題であり、勉強させていただく。



リモート会議の様子
～福井若手議員の会～

新風会・公明

林

順和

議員



開駅後、道の駅に係る大野市の支出は どのようになるのか

指定管理料として令和4年度までは
年額2640万円を支払う

問 来年度早期に開駅予定の道の駅「越前おおの荒島の郷」のこれまでに掛かった総事業費は幾らか。そのうち、大野市の負担分は幾らか。

答 総額約30億4600万円で、大野市の負担分は、合併特例債が約13億7800万円、合併振興基金などが約4億7500万円、一般財源は、約1億6300万円の予定。

問 開駅後、道の駅に係る大野市の支出はどのようになるのか。

答 指定管理料として令和3年度から令和4年度までの2年間は、年額2640万円を支払う。冬期間の除雪作業は市が行う。道の駅の売り上げに対して市の方にお金が流れてくることはない。

問 道の駅の目標とする来場者数と売上目標は、それを達成するための手

答 立ては。予想年間来場者数を38万人、売上額を3億円としている。直売所には、市民や観光客に親しまれ、愛される売り場となるよう、本市の魅力ある農林産物や地場産品はもちろんのこと、県内の土産品や特産物、本市と交流のある自治体の特産品など、来場者の購買意欲が高まる多彩な商品を年間を通して取りそろえ販売する。さらに、地方創生施設に出店するモンベルの集客効果が加わり、相乗効果による売り上げ増加により、売上目標は達成できるものと期待している。

加えて、道の駅を訪れた来訪者に、まちなか観光や観光体験メニューなどの情報を発信し、市街地並びに郊外への回遊を促していく。



新風会・公明
ひろせ
廣瀬 浩司
こうじ
議員



一般質問

御清水周辺の環境アセスメントを行い、 市民への説明会を求める

環境アセスメント及び市民への説明会の開催は
考えていない

問 名水百選御清水を求めて、県内外から、観光客が訪れるようになってきている。コロナ禍の影響で県外からは来なくなりましたが、福井などから、ポリタンクをもって水をくみに来ている方や、地図を見ながら訪れ、写真を撮っていかれる方がいる。

これは、御清水を守ってきた市民や関係者、名水をアピールしてきた大野市職員の皆さんの努力のたまものだと思う。その御清水周辺の下水道工事によって、水位や水質に影響がないか不安の声が上がっている。環境アセスメントを行い、一般市民にも説明会を開くべきではないか。

答 御清水周辺を含む、泉町、清瀧地区において、下水道工事が地下水に影響を及ぼすことがないよう、平成21年度より工法の検討や地下水の調査などを進めてきた。これらの調査結果を基に、御清水周辺の下水道工事の施工方法を作成していることから、改めて環境アセスメントを実施する必要はないと考える。

貴重な観光資源であることは認識しているが、現在、御清水が位置する泉町1区の方々と汚水処理方法について意見交換会を開催し、話し合いを進めている。一般市民への説明会は考えていない。



日本共産党大野市議員団
のむら
野村 勝人
まさひと
議員



大野市も拉致問題の啓発活動に もっと力を入れるべき

「北朝鮮人権法※」第3条で、地方公共団体は、拉致問題等の人権侵害問題に関する国民世論の啓発に努めることとされている



無党派

ダニエル益資 議員



- 問** 中学校の部活動は教員の働き方改革を妨げる最大の要因ではないか。
- 答** 部活動は平日2時間、休日3時間程度と長時間の指導とならないようにした。
- 問** 学校単位ではなく大野市全体でスポーツクラブや文化芸能部を運営した方が生徒の多様な興味、関心に応えられるのではないか。
- 答** 市内の各中学校は少子化で部活動の数が減っており、市全体でスポーツクラブや文化芸術部を運営する方が、選択肢を増やす点で望ましい。文部科学省の改革方針では、令和5年度から段階的な導入を目指すとしている。
- 問** 大野市も拉致問題の啓発活動にもっと力を入れてはどうか。
- 答** 「北朝鮮人権法※」第3条では、地方公共団体は、拉致問題等の人権侵害問題に関する国民世論の啓発に努めることとされている。生涯学習分野でも、機会を捉えて、人権教育の一つである拉致問題の学習会を開催している。県と協力しながら引き続き啓発に努める。
- 問** 未就学児への英語教育も希望者に提供してみてはどうか。
- 答** 地域子育て支援センターや子育て交流ひろば「ちつく・たつく」での英語の歌や踊りなどを通じた学習については、英語に親しむきっかけづくりとして、絵本の読み聞かせやミュージックケアなどの親子が一緒に楽しめるイベントの一つとして、ALTを講師に取り組むことを検討したい。
- ※「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」

災害時の避難体制や避難所の点検、備品の拡充は

新型コロナに対応した避難所開設運営訓練を実施した



新風会・公明

伊東由起恵 議員



- 問** 新型コロナウィルス感染拡大が続く中、仕事をしながら子育てをする女性や保護者のさまざまな不安に対し、どのように対応していくのか。
- 答** 保護者が感染した場合、同居の子どもは原則保健所の指示に従うことになるが、児童相談所と調整を行い、子どもの預け先を検討する。
- 問** 新型コロナウィルス接触確認アプリCOCOAの周知、普及拡大に向けた今後の取り組みは。
- 答** 広報おおのや市ホームページに操作方法や利用を促す記事を掲載するとともに、量販店や医療機関等にもチラシやポスターの掲示を依頼するなど、アプリ使用の周知啓発に努める。
- 問** コロナ禍において、災害時の避難体制や避難所の点検、備品の拡充は
- 答** どうなっているのか。避難所の受け入れ人数の制限や、より多くの避難所を開設するなど、避難所の3密を防ぐための対策をしている。担当職員に対しては新型コロナウィルスに対応した避難所開設運営訓練を実施し、検温・問診を行う受け付け訓練から避難スペースの設置までを行った。避難所の備品についても、今回の補正予算でおおのね整う予定。
- 問** 分散避難について家族と話し合いながら自分たちがどこに避難したらいいのか考えてもらうために、マイタイムライン(自分の防災計画)の作成を推奨してはどうか。
- 答** 新しいハザードマップを年内に配布して説明会に入る。その際には、マイタイムラインの作成も推奨していきたい。

一般質問

現時点で、下水道使用料の値上げを 考えているか



新風会・公明
たかだ やすまさ
高田 育昌
議員



料金を今すぐに改正しなければならないという
状態ではない

- 問** 泉町、清瀧地区における下水道事業の説明会の経過は。
- 答** この地区は地下水の水位が高いことから、工事による地下水への影響がないよう平成21年度から工法の検討や地下水の調査を実施してきた。平成29年度より毎年1回ずつ説明会を行ってきた。
- 問** 詳細設計に入っているのかの問いに対して区民の方は無言であったが、いかが判断されたか。
- 答** 確かに無言であったが、何人かの方がうなずいたので了解を頂いたものと理解した。
- 問** 下水道の工事中、工事後の飲み水の安心度は。
- 答** 事前に井戸水の水质検査を実施し、仮設の給水管を敷設する。工事後再度、水质検査を行う。また、管渠(かんきょ)施設は継続的に監視を行い、先手の対策を打ち、地下水の安全性確保に努める。
- 問** 仮給水施設の水は、どこから持ってくるのか。
- 答** 市庁舎、もしくは三番線の上水道から仮設管を敷設。料金は市が負担。
- 問** 下水道事業に企業会計が導入されたが、下水道料金の値上げの考えは。
- 答** 維持管理費は現在賄えている状態である。今すぐに改正しなければならない状態ではない。
- 問** 将来的に水道事業運営を民営化する考えは。
- 答** 現在のところ民間委託は考えていない。全国的な課題であることは認識している。他の先進事例等も見ていく。
- 問** 災害時の下水道の対応は。
- 答** 平成29年に大野市下水道業務継続計画を策定し、毎年訓練を行っている。本年6月に、復旧支援協力に関する協定を4つの協会と締結した。

一般質問

新型コロナ流行時に、生活困窮者に対して、 どのような支援策を実施したのか



無会派
まつもと よしひこ
松本 嘉彦
議員



生活困窮者についての相談窓口を設置して、
市民からの相談に対応した

- 問** 新型コロナ流行時に、生活困窮者に対して、どのような支援策を実施したのか。
- 答** 福祉こども課に、相談窓口を設置し、4月から6月には、土曜、日曜、祝日などの休業日にも職員を配置し相談に応じた。
- 問** 高齢者は広報おおの等紙ベースで情報を知ることが多い。そういったことを踏まえて、広報紙等で市民に伝える方法を取ってはどうか。
- 答** 関係機関、社会福祉協議会、自立相談支援センターらと等と協議して、紙ベースでできるものは実施していく。
- 問** 道の駅越前おおの荒島の郷が令和3年度開駅を目指して工事を進めている。また、和泉地区には道の駅九頭竜がある。両道の駅を活用してどのようにまちづくりを進めていくのか。
- 答** 中部縦貫自動車道による事業効果を最大限に活用し、両駅の発展に向けて取り組み、将来像「人がつながり地域がつながる住み続けたい結のまち」の実現に向けたまちづくりを進めていく。
- 問** 県が県道皿谷大野線の計画を進めている。本市はこの県道の整備にどのように関わっていくのか。
- 答** 本市は、計画線上に位置する一部土地の先行取得や支障となる施設等の代替地を近隣に確保する等、円滑に事業が促進するように環境を整えてきた。本年度は事業着手に向けて県が開催した地区説明会にも同行した。今後も県に対し、一日も早い完成を要望し、事業の促進に向け協力していく。

▽産経建設

（高岡委員長、林副委員長、
ダニエル、伊東、松田、川端）
**がんばれ大野 地域応援
券事業について**

◎委員の意見

市内の消費喚起を目的にするプレミアム付き商品券を販売する事業なので、さまざまな業種の店舗で利用できれば、それだけ支援の手が行き届き、市民にとっても使いやすい商品券になる。取扱店が増えるように事業者に対する周知や手続きの支援、情報発信に取り組みたい。



▽総務文教

（高田委員長、廣田副委員長、
廣瀬、梅林、畑中、榮）

文化会館整備基本設計事業について

平成31年度当初予算に計上された委託料執行は、当委員会の承認を得て行うよう決議し、先の6月定例会にて、コロナ禍がある程度おさまり、経費削減に向けて計画を見直すなどの新たな提案がなされなければ、予算執行の承認はいたしかねるとしたものの、

◎理事者の説明

新たな提案を行い、今年度中に基本設計事業を完了すること及び令和5年度末までの供用開始は困難と考える。今後、新文化会館の整備スケジュールも含め検討する。
拉致問題を風化させないための決議を求める請願について

本請願は、大野市議会が拉致問題を風化させないための決議を行うことや市及び市議会が共に拉致問題の啓発活動に取り

◎委員会での結果

「本市では水質目標値を設定するなど、地下水の保全の取り組みを行っており、環境アセスメントは、環境影響評価法に基づき行われるものである」との意見や、「市民は下水道工事を念頭に置いて、環境アセスメントを実施してほしいと考えているのではないか」などの意見が出された。採決の結果、賛成少数で不採択と決した。

◎委員の意見

道の駅の整備により、さまざまな効果が発揮されるよう、指定管理者やモンベル、産直の会やテナントなどが連携し、施設全体をどのように管理、運営していくのかについて、協議、調整されたい。

開駅時期が正式に発表されておらず、道の駅に野菜などを出荷予定の農家の作付け作業にも影響を及ぼすので、早期に発表されたい。

道の駅の利用者に提供するサービスの詳細が決まり次第、内容を公開し、市内外へ情報発信されたい。

地下水の「環境アセスメント」実施を求める陳情、「環境アセスメント」の実施を求める陳情の2件について

いずれの陳情も、地下水の環境アセスメントの実施を求めるもの。

▽民生環境

（永田委員長、白崎副委員長、
木戸屋、松本、堀田、野村）

和泉診療所について
◎理事者の説明

新型コロナウイルス感染症予防対策として、和泉診療所に空気清浄除菌

脱臭装置等を設置する。
◎委員からの意見
必要なものを精査し、予防対策をされたい。

◎理事者の説明

環境影響評価法により、下水道事業は環境アセスメントの対象事業ではないこと、平成21年度から市独自の調査を行ってきたことから環境アセスメントの実施予定はない。

◎理事者の説明

幼稚園舎部分の耐震診断の結果、大地震が起きた場合、倒壊する可能性が高いと判明した。耐震補強工事は、期間を要すること、その間の児童、保護者への影響が大きいことなどから、今年度末で、阪谷保育園を廃園とする方向で保護者に説明を行った。今後は、保護者アンケートの意見を踏まえ検討したい。

◎委員の意見

児童の安全を第一に考え、保護者等の意見を十分にくみ取り、適切に対応されたい。

◎委員の意見

「水に関する新たな計画」が市民の不安を払しょくするものとされたい。

◎委員の意見

「環境アセスメント」の実施を求める陳情、「泉町地区の詳細設計策定の前に地下水に対する環境影響評価の実施を求める」陳情の2件について

いずれの陳情も泉町・清瀧地区の下水道事業詳細設計業務委託の前に環

◎委員の意見

「これまでの調査結果を公表し、その結果を見極める必要がある」などの意見が出された。まず継続審査を諮った結果、賛成少数で否となり、次に採択を諮った結果、賛成少数で不採択と決した。

市民の不安を取り除き、今後、同様の陳情が提出されることのないよう、これまでの事業調査結果等を市民の皆さまに説明、公表されたい。

◎委員の意見

「御清水や地下水を守るため、長年取り組んできた方々に敬意を表す。しかしながら、環境アセスメントはそぐわないと考えるので採択は難しい」

◎委員の意見

「これまでの調査結果を公表し、その結果を見極める必要がある」などの意見が出された。まず継続審査を諮った結果、賛成少数で否となり、次に採択を諮った結果、賛成少数で不採択と決した。市民の不安を取り除き、今後、同様の陳情が提出されることのないよう、これまでの事業調査結果等を市民の皆さまに説明、公表されたい。

組むことなどを求めるもの。

◎委員会での結果

「重要な」となので採択とすべきだが、決議までには要しないと考える」との意見や、「安倍政権下でも取り組まれ、引き続き取り組まれるとのことなので継続審査とされたい」が、決議は控えられたい」
「現在、学校現場や市でも啓発活動を行っている」
「県や他市町と一緒に決議や要望を行うべきで、絵に描いた餅になってはならない」などの意見が出された。まず継続審査を諮った結果、賛成少数で否となり、次に採択を諮った結果、賛成少数で不採択と決した。

特別委員会報告

▼人口減少対策

(伊東委員長、林副委員長、ダニエル、堀田、高田、永田、松田、榮)

放課後の子どもの居場所づくりについて

◎理事者の説明

地域により、放課後児童クラブと放課後子ども教室とに区別されているが、放課後の子どもの預かりという面では、どの地域でも同じ支援を受けられるようにしないといけない。また受け入れ側の人員の配置や利用状況に応じた施設の運用についても検討する。

◎委員の意見

保護者の中に、通う学校によって、放課後の子どもの居場所が変わることに対する不安がある中で、保護者の声を十分に聞き、できることから対応してもらいたい。

保護者への情報発信について

◎理事者の説明

子ども医療費助成制度

の拡充に伴う申請手続きで、46割が電子申請を利した。

◎委員の意見

半数ではあるが、今回の電子申請で市役所へ行かなくても申請できることを実感してもらえたとと思う。今後も行政のデジタル化について進めてもらいたい。また市の公式LINEで年齢や居住地などの受信対象が区分けできるセグメント配信を開始したのであれば、電子申請できることをセグメント配信することで、公式LINEの有効性が増加し、登録者数の増加につながる。

人口減少対策に関する委員間協議について

「地域の生き残りをかけ、本市の優れた特徴を伸ばされたい」との意見や、「コロナ禍の中、田舎暮らしが見直されている。地方への移住の流れを捉えていくことが大切である」との意見が出された。

現在見直し中の人口ビジョンを達成するために

は、総合戦略として位置付けられる各種施策が重

要になるので、その内容を注視していく。

▼未来へつなぐまちづくり

(川端委員長、廣瀬副委員長、木戸屋、白崎、松本、廣田、野村、畑中)

中部縦貫自動車道の進捗(しんちやく)状況等について

◎理事者の説明

大野・大野東区間の真名川橋の橋台工事はほぼ完成し、今後は橋脚を整え、上部を施工していく。

◎委員の意見

大野東・和泉区間の荒島第一トンネル全長2561mのうち、8月末現在2321mまで掘り進み、年度内に貫通する見通しである。

◎委員の意見

荒島第一トンネル工事に伴い地下水脈が断たれるなど地域に与える影響

については、回復に努め、補償などについても誠意ある対応をされたい。

道の駅越前おおの荒島の郷整備の推進について

◎理事者の説明

建物の屋根や床などの建築工事とともに電機や空調、給排水などの設備工事が本格的に進められ、令和3年春の開駅に向けて順調に工事が進捗している。

◎委員の意見

令和3年春に開駅予定だが、その時期は農林産品が一番品薄になるのではと気掛かりである。

開駅時に農林産品が並んでいないことがないよう産直の会と情報を共有し対応を検討されたい。

高速バス誘致や道の駅へのバスの運行など公共交通施策について

◎理事者の説明

高速バス誘致については大野経由ルートでの運行について誘致活動を行っている。道の駅へのバス運行についても関係機関等と検討を重ね本年度中に路線を決定する。

編集後記

今年の「中秋の名月」は見事なものでした。コロナ禍で悩まされ続けた半年でしたが、やはり自然の美しさは心を和ませてくれます。人類にとって大きな試練を与えるコロナウイルスも自然の産物です。私たち人類は、自然に感謝し自然と共に生きていかなければならないという根源的なことを、コロナウイルスは確実に教えてくれました。この半年、人生を見つめ直し、今後の生き方を真剣に考えた方も多いのではないでしょうか。「生きる」という原点に立ち返ったとき、大野が持っている自然環境が、生きるすべを柔らかく私たちに与えてくれていて感じます。この機に、あらためて誇りに思う大野のすごさです。(座長 木戸屋八代実)

議会だより編集委員会

- 委員 木戸屋八代実
- 廣瀬 浩司
- 廣田 憲徳
- 野村 勝人
- 高岡 和行

※次回は、1月下旬の発行を予定しています。



意見書を提出することとした。

地方財政の充実・強化を求める意見書採択について
本陳情は、地方財政の確立を目指すことを求める意見書を国へ提出するよう求めるもの。
◎委員会での結果
全会一致で採択とし、意見書を提出することとした。



所管調査 (道の駅越前おおの荒島の郷)